

お客様の環境保全をお手伝い

「しがぎん」琵琶湖原則支援資金ご利用先のご紹介

信楽陶器工業協同組合(甲賀市信楽町)

釉薬廃泥の再利用により「エコ土」を開発

天平14年(742年)聖武天皇の紫香楽宮造営により栄えた信楽は、鎌倉中期に始まったとされ、日本六古窯の一つとして食卓用品等の小物から壺・置物等の大物陶器まで、幅広い製品構成を誇る産地です。

信楽陶器工業協同組合の主な業務は産地メーカーへの原料(陶土)や資材の供給と、新原料の研究や、開発により陶器製造業者の生産活動を応援しています。

同組合は陶器作りの過程で上薬を塗る際に出る釉薬(ゆうやく)廃泥を陶土に混ぜ、「エコ土」として再利用する事業に取り組んでいます。廃泥を

陶土に混ぜる方法は、滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場(甲賀市信楽町)が開発し、産業廃棄物の廃泥が一転して資源となり、環境にやさしいエコ商品として実用化が進められています。

また、陶土を製造する過程で発生する粉塵(土ぼこり)を集塵する粉塵集塵設備を「しがぎん」琵琶湖原則支援資金(PLB資金)を活用し、導入することにより従業員の健康管理と近隣への粉塵拡散防止に努められています。

所在地 滋賀県甲賀市信楽町江田985番地
TEL 0748-82-0831



エコ土の製造
釉薬廃泥を陶土に混ぜ、「エコ土」として再利用する設備



信楽陶器工業協同組合本社工場



粉塵を集塵する粉塵集塵設備

草津市下物町

「しがぎん」琵琶湖原則支援資金ご利用先のご紹介

株式会社近江物産(栗東市)

使用済産業廃棄プラスチックの高品位マテリアルリサイクルの取り組み

株式会社近江物産は、地球環境を守るリサイクル事業で環境保全(サステナブル)を目的とした循環型社会づくりに貢献することを「経営理念」に掲げ、プラスチック廃棄物のマテリアルリサイクルに取り組んでいます。

「国内で発生した物は国内で最終処分する」をモットーに、本社および全国の協力会社で年間20,000トンの粉碎・ペレット加工を行い、市場に「再生原料」として出荷しています。

同社のリサイクルとは、使用済みの製品を元の素材に戻し、資源を循環させることと考え、自動車

部品であるバッテリーから、バッテリーや自動車のアクセサリ、ダクトなどの各種部品や装飾品へと再生し、自己循環型リサイクルを進めています。

長年にわたるこれらの活動が評価され、平成19年2月には、リサイクルポリプロピレンの高品位化技術の研究開発に対して「しがぎん野の花賞」、また同年4月には、環境への取り組みが評価され「滋賀LOHAS大賞奨励賞(主催:滋賀経済同友会)」を受賞されました。

所在地 滋賀県栗東市大橋7丁目4番51号
TEL 077-553-6193



ペレットの押出工程ライン



ペレットの押出工程



再生されたペレット(プラスチック・リサイクル材)



高島市朽木小入谷